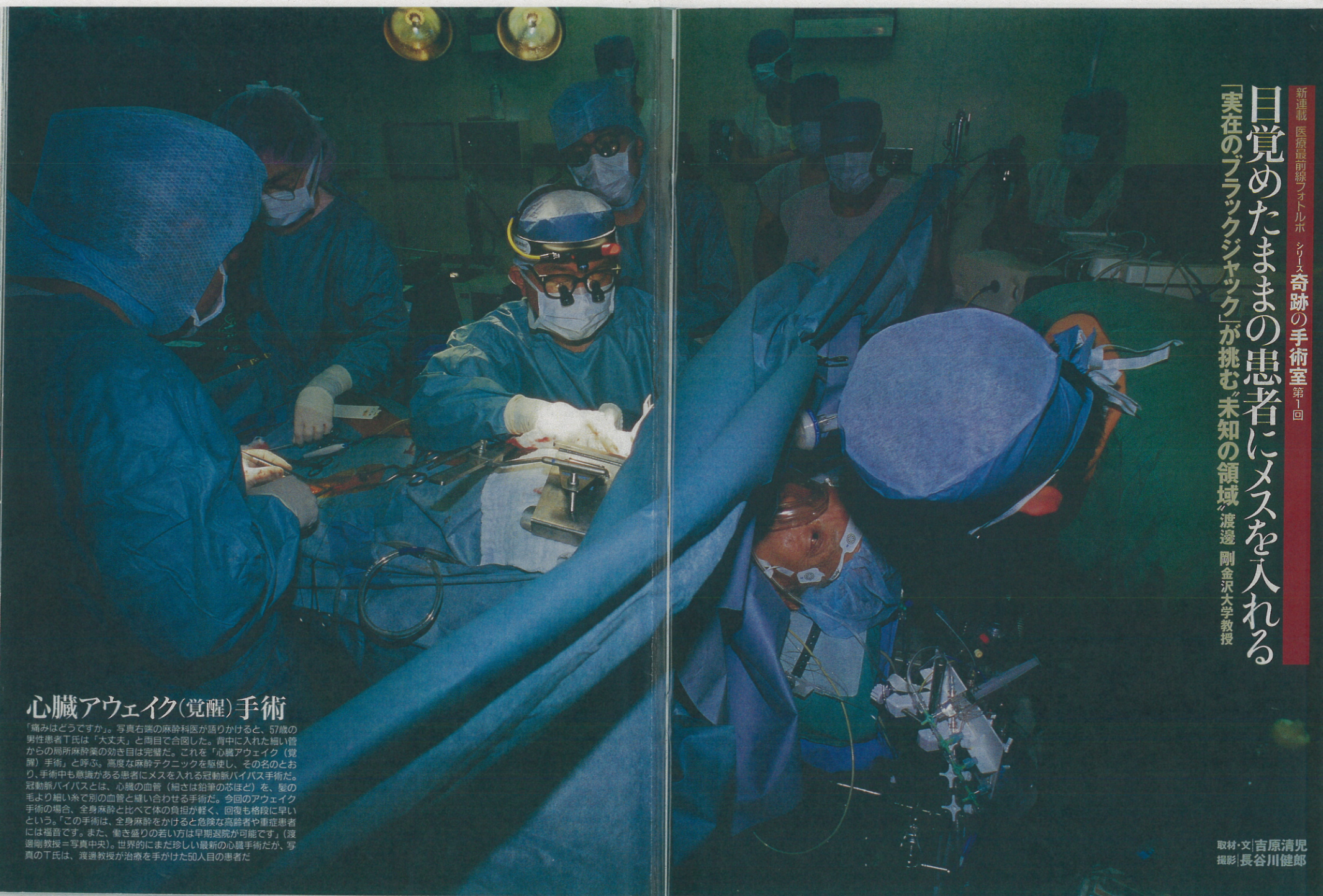


目覚めたままの患者にメスを入れる 「実在のブラックジャック」が挑む未知の領域 渡邊 剛 金沢大学教授

取材・文 | 吉原清児
撮影 | 長谷川健郎

心臓アウェイク(覚醒)手術

「痛みはどうか」。写真右側の麻酔科医が語りかけると、57歳の男性患者丁氏は「大丈夫」と両目で合図した。背中に入れた細い管からの局所麻酔薬の効き目は完璧だ。これを「心臓アウェイク（覚醒）手術」と呼ぶ。高度な麻酔テクニックを駆使し、その名のとおり、手術中も意識がある患者にメスを入れる冠動脈バイパス手術だ。冠動脈バイパスとは、心臓の血管（細さは鉛筆の芯ほど）を、髪の毛より細い糸で別の血管と縫い合わせる手術だ。今回のアウェイク手術の場合、全身麻酔と比べて体の負担が軽く、回復も格段に早いという。「この手術は、全身麻酔をかけると危険な高齢者や重症患者には福音です。また、働き盛りの若い方は早期退院が可能です」（渡邊剛教授＝写真中央）。世界的にまだ珍しい最新の心臓手術だが、写真の丁氏は、渡邊教授が治療を手がけた50人目の患者だ。

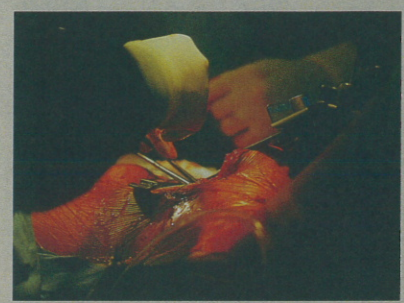


「高校生の頃、僕はブラックジャックのような医者になりたいと思ったんです」
 そう語るのは、渡邊剛金沢大学医学部心臓・総合外科教授だ。憧れのヒーローのように、心臓を病んだ人はいかに多く、超一流のメスで救えるか。これが、今、天才的なテクニックで「実在のブラックジャック」と呼ばれる心臓外科医の原点だ。これまでに患者1000人以上が、そのメスによって命を救われている。

前ページで紹介した男性患者「T氏は狭心症だ。血管の一部が狭くなり、心臓に栄養と酸素を送る血液が流れにくくなる病気である。これを放っておくと、ある日突然発作が襲い、命が危ないのだ。」「この手術を教えられる時、僕は「これをお願いします」と決めました」とお話しします。と決めたんです」
 とは、手術前夜の2月1日、T氏が語った言葉だ。身長177cm、体重68kg。がっしりした体格の持ち主であった。



わたなべ・こう 46歳 東京都出身。特に、安全・確実で体によさしい「心拍動下冠動脈バイパス手術」では国内に先駆け、今や世界の第一人者。冷静沈着なメスさばきで年間100件以上の同手術をこなし、成功率が99.7%。



胸の奥、約10cm先にピンク色の心臓がみえた。白手袋の指動き、心臓の血管を縫い合わせてゆく。これが超一流外科医の「神技」だ。

1回目の知覚テストが行われた。麻酔担当の坪川恒久医師が、「ここは？」と、冷たい水の固まりをお胸から首筋にかけて押し当てる。T氏は「ちよっと冷たい」と言った。坪川医師は麻酔薬キシロカインを追加し増量した。

9時45分、今度は先の尖ったピンセットで皮膚をつまみ、右腕から胸部にかけての知覚テストが数回繰り返される。「これは痛いですが？」「いや、大丈夫。麻酔のスペシャリスト、坪川医師による局所麻酔はもう完璧だった。10時25分、渡邊教授が手術台の前に立った。青い手術着姿で35倍の拡大鏡付きのメガネをかけているのは、直径1〜2mmの血管を縫う手術だからだ。



という独特の機械音とともに、男性患者の分厚い胸板が上から下に十数分切りの開かれた。それから、白い電気メスと鉄で直径2mmの血管一本を、長さ20cmほど剥離した外に一度取りだした。
 「次の山場は、血管吻合です」と、手術スタッフが耳打ちしてくれた。血管吻合とは、血管同士を縫い合わせる。つまりは、狭くなった血管の部位を迂回するように別の血管をつなぎ、バイパスを作ることだ。糸がもつれたり、針でも指先の動きが狂ったりしたら即、手術の失敗、すなわち患者の死につながる。また時間上の制約もあり、15分間以内で「血管を上手に縫い合わせることができなければ、患者の容体はたちまち悪化してしまう。」

松浦伸幸氏41歳、写真左の命を救ったのが、バイパス手術。東大医大・再医療とは、本人の血液を採取して血管を再生させる細胞を分離し、心臓に注射するもの。現代医学のエッセンスを結集した、最先端治療だ。3月なかば、手術後7カ月の検査結果も、特に問題はない（松浦氏）

心臓バイパス手術(狭心症、心筋梗塞)に強い名医トップ15

道井洋史	心臓血管センター北海道大野病院	北海道札幌市西区西野4条1-1-30	011-665-0020
天野 篤	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京都文京区本郷3-1-3	03-3813-3111
高梨秀一郎	榊原記念病院	東京都府中市朝日町3-16-1	042-314-3111
磯村 正	薬山ハートセンター	神奈川県三浦郡薬山町下山口1898-1	046-875-1717
南瀬明宏	大和成和病院	神奈川県大和市南林間9-8-2	046-278-3911
渡邊 剛	金沢大学医学部附属病院	石川県金沢市宝町13-1	076-265-2000
大川育秀	豊橋ハートセンター	愛知県豊橋市大山町五分取21-1	0532-37-3377
夜久 均	京都府立医科大学附属病院	京都府京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465	075-251-5111
西脇 登	近畿大学医学部奈良病院	奈良県生駒市乙田町1248-1	0743-77-0880
東上震一	岸和田徳洲会病院	大阪府岸和田市加守町4-27-1	0724-45-9915
清水幸宏	大阪市立総合医療センター	大阪府大阪市都島区都島本通2-13-22	06-6929-1221
向原伸彦	兵庫県立姫路循環器病センター	兵庫県姫路市西庄甲520	0792-93-3131
畑 隆登	心臓病センター榊原病院	岡山県岡山市丸の内2-1-10	086-225-7111
岡林 均	小倉記念病院	福岡県北九州市小倉北区貴船町1-1	093-921-2231
坂田隆造	鹿児島大学病院	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5111

同教授は「1セットの先で青と白の2本の糸をたぐって1針、2針、3針……と12針分の血管吻合を3分間程度で終えた。手術中、スロートバルドがずつと流れていた。宇多田ヒカル「フリースト・ラブ」それは、心臓に恋をした超一流外科医のお気に入りの一曲であった。

完全内視鏡下心臓バイパス手術



写真は、巨大な特殊メガネ付きの、手術用の三次元内視鏡装置。渡邊教授が内視鏡マイカールのオリンパスと共同で開発した「世界第一号機」だ。一般的な心臓バイパス手術では胸を開いて約30cmの切口にするが、この完全内視鏡下心臓バイパス手術の場合には小さな穴(直径1cm)を3カ所開ける。手術の流れは、①中央の穴からテレビモニター付き内視鏡をさし入れる。②心臓が立体的に映ける。③次に、左手の青い電気メスと右手の鉗子で同様に血管を縫い合わせる。④3立体画像を見ながら治療器具を操作し、血管を縫い合わせる。体の負担が軽く、傷もほとんど残らない。50代の女性患者Aさんは、この手術を受けるため、他の病院から転院。3月10日、渡邊教授による手術は成功した。同日夕方、渡邊教授が「手術はうまくいきました」と語りかけた。ありがたいことでしたとAさん。しっか